

市内小・中学校の統廃合等の検討に関する経過状況
(平成30年11月5日現在)

1 学校統廃合等の検討を開始するまで

【経過概要】

年月日	概要
H29. 1	児童生徒数の減少に伴う小・中学校の小規模化への対応として、「久喜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」を策定
H29. 4. 28(金)	久喜市教育委員会平成29年4月定例会 ⇒市立小・中学校学区等審議会へ学校統廃合等の検討について諮問することを議決(対象校:江面第二小学校、小林小学校、上内小学校、菖蒲南中学校の4校)
H29. 5. 24(水)	平成29年度第1回久喜市立小・中学校学区等審議会 ⇒市立小・中学校の統廃合等の検討について教育委員会より諮問を受け、対象の4校のうち、江面第二小学校を優先的に検討することを決定。

2 江面第二小学校の統廃合等の検討について

【江面第二小学校の統廃合に関する基本的な考え方(案)について】

統合の相手:江面第一小学校

統合の時期:平成33年(2021年)4月

新校の位置:現在の江面第一小学校の位置(久喜市北青柳40番地1)

【説明会等の開催回数】

江面第二小学校区:18回 江面第一小学校区:5回

【説明会等の経過概要】

(◎地域住民対象、△保護者対象、☆要望等)

年月日	概要
H29. 6. 17(土)	◎ 江面第二小学校 (出席者数:約75人)
H29. 7. 6(金)	◎ 江面第二小学校 (出席者数:10人) (内容)適正規模・適正配置に関する基本方針の概要、学校の現状を説明。
H29. 8. 4(金)	△ 江面第二小学校 (出席者数:14人)
H29. 8. 5(土)	◎ 江面第二小学校 (出席者数:23人)
H29. 8. 5(土)	◎ 江面第一小学校 (出席者数:45人) (内容)相手校を江面第一小学校とすることや、今後の進め方について説明。

H29. 9. 14(木) H29. 9. 20(水) H29. 9. 22(金)	△ 江面第二小学校 (出席者数：18人) △ 江面第二小学校 (出席者数：12人) △ 江面第二小学校 (出席者数：9人) (内容) P T A主催の保護者座談会へ参加。 ⇒統廃合の具体案を示して、子どもの交流機会を増やすよう求める意見あり。
H29. 11. 10(金) H29. 11. 11(土) H29. 11. 13(月)	◎ 江面第二小学校 (出席者数：16人) ◎ 江面第二小学校 (出席者数：11人) ◎ 江面第一小学校 (出席者数：7人) (内容)「江面第二小学校は江面第一小学校と統合し、平成32年(2020年)4月に統合による新たな学校を江面第一小学校の位置に開校する」案を示す。
H30. 1. 15(月)	☆「陳情書」が提出される (内容)江面第二小学校区の3区長連名により、市長、教育長、市議会議長あてに統廃合の検討について取りやめ再検討されたい旨の陳情書が提出された。
H30. 3. 22(木)	久喜市教育委員会平成30年3月定例会 (内容)江面第二小学校の統廃合の検討に関する陳情書について、陳情者を参考人として招致し、陳情内容について質疑のうえ審議した結果、不採択とした。
H30. 4. 13(金)	☆「陳情書」に対する回答文書を陳情者に送達
H30. 6. 26(火) H30. 6. 27(水)	△ 江面第一小学校 (出席者数：10人) △ 江面第一小学校 (出席者数：6人) (内容) 統合の時期を「平成33年(2021年)4月」とすることを説明。
H30. 6. 28(木) H30. 6. 29(金) H30. 7. 5(木)	△ 江面第二小学校 (出席者数：3人) △ 江面第二小学校 (出席者数：6人) △ 江面第二小学校 (出席者数：18人) (内容) 統合の時期を「平成33年(2021年)4月」とすることを説明。 ⇒江面第二小学校P T Aより、複式学級の編制回避等を求める主旨の要望書提出を検討するとの意見あり。
H30. 6. 30(日) H30. 6. 30(日)	◎ 江面第二小学校 (出席者数：26人) ◎ 江面第一小学校 (出席者数：12人) (内容) 統合の時期を「平成33年(2021年)4月」とすることを説明。
H30. 7. 25(木)	☆「要望書」が提出される (内容)江面第二小学校P T Aより、市長及び教育長あてに下記の内容を要望する主旨の要望書が提出された。 (1) 統廃合の方針を早急に決定すること。 (2) 統廃合の検討が行われている間、市費負担教員を配置し、複式学級の編制を回避すること。
H30. 8. 29(木) ~H30. 9. 5(木)	「江面第二小学校の統廃合等に関するアンケート調査」を実施 (内容)江面第二小学校及び江面第一小学校の保護者を対象に、統廃合の基本的な考え方の案についてアンケート調査を実施。江面第二小学校保護者37世帯中25世帯(67.6%)、江面第一小学校保護者143世帯中100世帯(69.9%)から「賛成」または「やむを得ない」との回答を得た。

H30. 9. 27(木)	<p>久喜市教育委員会平成 30 年 9 月定例会</p> <p>(内容) 江面第二小学校については、「学校統廃合を実施するまでの期間に限り、市費負担教員を配置して、複式学級を編制しないよう対応する考え方」について協議し、了承される。</p>
H30. 9. 28(金)	<p>久喜市議会全員協議会</p> <p>(内容) 上記の「複式学級を編制しないよう対応する考え方」について、市議会に報告。また、この考え方について、江面第二小学校の保護者に対し、同日付で文書により周知する。</p>
H30. 10. 3(水)	◎ 樋ノ口集会所 (出席者数：3人)
H30. 10. 4(木)	◎ 原集会所 (出席者数：7人)
H30. 10. 7(日)	◎ 樋ノ口集会所 (出席者数：4人) ※原地区・樋ノ口地区合同
H30. 10. 7(日)	◎ 除堀集会所 (出席者数：8人)
H30. 10. 9(火)	◎ 除堀集会所 (出席者数：2人)
<p>(内容) 江面第二小学校区の自治会ごとに意見交換会を実施。</p> <p>これまでの説明内容を振り返る形で説明し、意見交換会の参加者を対象に、統廃合の基本的な考え方の案についてアンケート調査を実施。回答者18人中15人(83.3%)から「賛成」または「やむを得ない」との回答を得た。</p>	

【主な意見】

(保護者)

- ・統廃合には賛成である。子どもたちのことを考え、少しでも早く統合してほしい。
- ・統廃合は致し方がない。保護者は先々のことを考えて、行動すべきである。
- ・複式学級の編制だけはやめてほしい。方針が長い間決まらず、不安である。
- ・子どもたちに負担がかからないよう、統合前の交流や統合後の配慮をお願いしたい。
- ・江面第二小学校は良い学校なので無くさないでほしい。統合となったら寂しい。

(地域住民)

- ・保護者や子どもの意見が第一であり、統廃合するなら早急に進めるべきである。
- ・学校が無くなることは寂しいが、子どもたちのことを考えると仕方がない。
- ・廃止後の学校施設を地域のために有効に活用してほしい。速やかに検討されたい。
- ・統廃合ありきの考えで、納得がいかない。小規模教育のあり方を検討すべきである。

3 小林小学校の統廃合等の検討について

【小林小学校の統廃合に関する基本的な考え方(案)について】

現在検討中であり、統合の相手、時期等については未定

【説明会等の開催回数】

菖蒲南中学校区：1回

【説明会等の経過概要】

(◎地域住民対象、△保護者対象)

年月日	概要
H29. 12. 10(日)	◎ 菖蒲南中学校 (出席者数：約 160 人) (内容) 適正規模・適正配置に関する基本方針の概要、学校の現状を説明。

【主な意見】

(保護者)

- ・統廃合しなくても済む方法は考えられないのか。
- ・小林小学校は地域と結びつきが強く、少人数でも上手くいっているモデルのような学校だ。
- ・菖蒲南中学校に小林小学校と栢間小学校を併設した学校を設置してはどうか。
- ・保護者と地域住民では意見が違う。個別に説明を行うべきではないか。
- ・保護者としては、子どもの人数が増えることは良いと思う。

(地域住民)

- ・小林小学校が統廃合となったなら地域が廃れてしまう。人口を増やす施策を講じるべき。
- ・小林小学校は地域コミュニティの中心で、歴史のある学校である。存続してほしい。
- ・何回も説明し、納得が得られるまで議論してもらいたい。

4 上内小学校の統廃合等の検討について

【上内小学校の統廃合に関する基本的な考え方(案)について】

現在検討中であり、統合の相手、時期等については未定

【説明会等の開催回数】

上内小学校区：2回

【説明会等の経過概要】

(◎地域住民対象、△保護者対象)

年月日	概要
H29. 12. 10(日)	◎ 上内小学校 (出席者数：25 人) (内容) 適正規模・適正配置に関する基本方針の概要、学校の現状を説明。
H30. 1. 20(土)	△ 上内小学校 (出席者数：13 人) (内容) 適正規模・適正配置に関する基本方針の概要、学校の現状を説明。

【主な意見】

(保護者)

- ・このままでも良いのではないか。特別支援学級への配慮が保てるか不安である。
- ・少人数でも教員の対応が丁寧で、良かったと思う。子どもを安心して通学させられる。
- ・統合して子どもがいじめにあわないか。通学区域を見直すことはできないのか。

(地域住民)

- ・地域のコミュニティと学校の繋がりは大きいですが、どう認識しているのか。
- ・わし宮団地の小学校が無くなることについて、寂しさがある。

5 菖蒲南中学校の統廃合等の検討について

【菖蒲南中学校の統廃合に関する基本的な考え方（案）について】

統合の相手：菖蒲中学校

統合の時期：平成 33 年（2021 年）4 月

新校の位置：現在の菖蒲中学校の位置（久喜市菖蒲町上大崎 860 番地）

【説明会等の開催回数】

菖蒲南中学校区：4 回 小林小学校区：2 回 栢間小学校区：2 回

菖蒲中学校区：1 回

【説明会等の経過概要】

（◎地域住民対象、△保護者対象）

年月日	概要
H29. 12. 10(日)	◎ 菖蒲南中学校（出席者数：約 160 人） （内容）適正規模・適正配置に関する基本方針の概要、学校の現状を説明。
H30. 3. 6(火)	△ 栢間小学校（出席者数：12 人） （内容）適正規模・適正配置に関する基本方針の概要、学校の現状を説明。
H30. 6. 27(水) H30. 7. 3(火) H30. 7. 4(水) H30. 7. 11(水) H30. 7. 11(水)	△ 栢間小学校（出席者数：28 人） △ 小林小学校（出席者数：9 人） △ 小林小学校（出席者数：25 人） △ 菖蒲南中学校（出席者数：1 年生保護者 22 人） △ 菖蒲南中学校（出席者数：2 年生保護者 22 人） （内容）統廃合に関する基本的な考え方について素案を示し、意見を伺う。
H30. 10. 13(土) H30. 10. 13(土)	◎ 菖蒲中学校（出席者数：約 45 人） ◎ 菖蒲南中学校（出席者数：約 50 人） （内容）「菖蒲南中学校は菖蒲中学校と統合し、平成 33 年（2021 年）4 月に統合による新たな学校を菖蒲中学校の位置に開校する」案を示す。

【主な意見】

（保護者）

- ・菖蒲中学校との統合には賛成である。子どもが多い環境のほうが望ましい。
- ・菖蒲南中学校の統廃合は仕方ない。部活動が限定されるなど、やりたいことが出来ない。
- ・統廃合する前に、部活動などを通して、両中学校の交流を深めてほしい。
- ・中学生は多感な時期であり、クラス編制や成績評価、制服などについて心配している。
- ・統合すると通学距離が長く、安全は確保できるのか。スクールバスを検討してほしい。

（地域住民）

- ・菖蒲南中学校の統廃合はやむを得ないと思う。
- ・住民の地域に対する熱い思いがあることをよく考えてほしい。
- ・地域の意見を大切にしてもらいたい。通学距離が長すぎるのではないか。
- ・国際的には少人数教育を推奨している。生徒数を根拠として、統廃合ありきの考え方になっていないか。